わくわく倶楽部

江口グループ　第123号　平成29年10月発行

新たなチャンスが眠っている

江口グループ　代表取締役社長　江口　充

今月も江口グループわくわく倶楽部のニュースレターを読んでいただきありがとうございます。皆さんはどんな秋をお過ごしですか？僕はスポーツの秋を満喫しております。9月2日に今年も寛平Nightマラソンに参加してきました。去年は大変な思いをして走った32㎞、高低差400mでしたが、今年はトレーニングと減量のおかげで、去年より30分近くタイムを縮めることができました。走っていて楽しかったです。コースには寛平さんはじめ中川家、月亭方正、村上ショージ、麒麟田村…多くの吉本の芸人さんがいて、一緒に写真を撮ってもらいました。（マラソンの様子はぜひブログ『このまちを創り続け96年。江口グループ4代目のブログ』をご覧ください）来年も開催されるようなので、またチャレンジしたいなと思います。次のマラソンは11月に大阪マラソンに参加する予定です。初めての大阪マラソンで大阪の街を走れることにワクワクしています！それと最近は久しぶりに大好きなサッカーもがんばっている4代目です!!　マラソンやゴルフのスポーツをすることが最近多いですが、やはり小学校の頃から大好きなサッカーをすることが楽しいですね。41歳になった今でも、少しでも上手にならないかと思い、ボールを追いかけています。

さて、10月になると来春の入社予定の新入社員の内定式を行う企業もあると思います。そんな新社会人になる学生さんに読んで欲しい本をご紹介します。和紙作家、堀木エリ子さんの「挑戦のススメ」という本です。新社会人になる学生の皆さんだけじゃなく、働く人にぜひ読んで欲しい本です(^^)/

よく「好きを仕事に」というフレーズを耳にする。好きというのは、たしかに、その仕事に就くきっかけにはなると思う。でも、好きなだけでは絶対に続けていけない。結婚といっしょだ。10年、20年、ずっと好きだと思っていられるとしたら、それは素敵だろう。しかし、なかなかそうはいかない。年月の中で空気のような存在になったり、好きとか嫌いといった感情とは別のところで、相手を見るようになるだろう。仕事もそうだ。逆に、好きな仕事に就けなかったり、周囲の人から向いていないと言われることもよくあるだろう。でも、わたしは好きで和紙の世界に入ったわけではない。デザインや職人の仕事が向いていると言われたこともない。ただ、ご縁からこの世界に足を踏み入れることになった。目の前に課題があり、要望があった。だから、それに挑戦した。思ってもみなかったことをすることになったとしたら、それは、チャンスだ。新しい自分を見つけていくチャンスだ。わたしはそう考えてきた。そのように自分を切り替えていけばいい。この仕事は好きではない、自分には合わない、という人の話を聴いていると、たいてい漠然としている。こういう仕事がしたいという場合も同じことが多い。いったいどういうところが好きなのか？どういうところが嫌なのか？分析してみることだ。そうすると、つまらないと思っていた目の前の仕事の中にも、自分なりの発想や新しい可能性を実現していく部分が必ずある。漠然と文句を言っているうちは、ただ、目の前のことに一生懸命取り組むことから逃げていると言われてもしかたないだろう。そして、どうしても、仕事の何かを変えていきたいと思うのなら、自分がどう変えていけるのか、考える。そして、挑戦することだ。待っていても、相手は変わらない。自分を変えていくしかない。いつかは誰かがしてくれるという考え違いを改めて、自分がするしかないのだ。

堀木エリ子さんは天職についてこうお話をされています。「天職とは、好き嫌いではない。向き不向きでもない。ただ、それに生涯をかけて取り組むと、覚悟を決めることだ」「人間は、早成する、早くものになるというほど危ないことはない。人間もなるべく晩成がよい。まあ、死ぬ頃なんとかものになるというくらいの覚悟でぼつぼつやるがよい」と、覚悟について安岡正篤師は述べています。不退転の覚悟もあるが、柳のような覚悟もあります。柳の覚悟は、風が吹こうが嵐がこようが、受け流すことができます。仕事を決めるときも同じで、ぼつぼつと死ぬ頃までになんとかものにできればいいという覚悟を持つといいと思います。仕事はご縁によって決まります。だからこそ、好きな仕事を探すのではなく、仕事の中に好きを見つけること。「思ってもみなかったことをすることになったとしたら、それは、チャンス」目の前の仕事に、新たなチャンスが眠っています!!

4代目の江口グループ現場だより

土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願いします(^^)/

子ども現場見学会！かわいいちびっ子現場監督！！

8月29日に小学生14名が参加し『子ども現場見学会』を今年も開催しました。梯川の堤防工事、正蓮寺町の造成工事、千代田機電さんで重機体験、そして家を造る木での木工教室を行いました。最初は緊張気味の子どもたちでしたが、現場見学が進むにつれてみんなと打ち解けて楽しく現場見学会に参加してくれたようでした。現場では、何のために工事をしているか、どうやって工事を進めていくか等を、小松の歴史を振り返り、そして作業を見ながら江口組の社員が説明しましたが、子どもたちは現場の説明よりかは重機に乗る方が楽しかったみたいです(笑) 現場見学会が終わり、子どもたちが帰る時にそれぞれ「楽しかった～！」「また来たい！」っていう嬉しい声がたくさんあがってこちらとしても嬉しく思いました！建設業は年々若手不足が深刻な問題になっています。こうやって小学生のうちから建設業という仕事に触れてもらって、少しでも興味をもって、将来建設業で働きたいっていう子が出てきて欲しいなという思いで「子ども現場見学会」を開催しています。また来年も開催したいと思います！

ヘルメットかっこいいですね！

工事現場を楽しみました！

上空12mに昇りドローンで撮影しました。

松原さんからの現場説明です。

千代田機電さんで建設機械の運転。

みんな真剣でした！

小松市TAGさんの展示場にお客様スペースの工事を行いました。

現場担当・中田さやか

小松市今江町の自動車屋さんTAGさんの新展示場が9月にリニューアルされました。そこにお客様が寛げるスペースを造らせていただきました！

新入社員の中野初音が従来の丁張作りに取り組んでいます！

これは丁張を作っている写真です。丁張とは、現場で土を盛ったり、削ったりする時に、この高さでこの角度で仕上げる目印にするものです。これまでは、土工事する時はかかせないものでしたが近頃はICTの技術が進歩して丁張を作らなくてもよい現場があります。もちろん働きやすくなりいいことですが、丁張のことを、知ってるのと知らないのでは全く違います。現場監督の基本です！！

まずは杭打ちから！

真剣に、そして慎重に

担当・中野初音

小松から福井へと続く416号線の道路。福井国体までに完成予定です。

小松市から福井へとつながる416号線の道路工事の現場です。長年、山を切り開き道路を造ってきたこの現場ですが、来年福井で開催される国体までに完成する予定となっています。

416号担当・池田雅弘

山を切り開き道路を造ります

直径2.4mの管を設置します

安宅海岸と梯川のゴミ拾いボランティアに参加しました！！

夕焼けをバックに海岸清掃。

梯川協議会主催のゴミ拾い。

江口グループ社員で9月8日の夕方、キレイな夕焼けをバックに安宅海岸の清掃活動を行いました。また9月16日には梯川協議会主催のゴミ拾いに社員15名が参加しました。

スタッフ通信

こんにちは！すっかり秋ですね。朝夕は肌寒く感じますので、体調を崩さないようにお気をつけてくださいね。今月も"○○な秋"です。

工事部
畦地　翔葉

工事部
山根　勝敏

お昼寝の秋
だんだんと涼しくなってきているので、まったりとしている時間が好きです

工事部
中野　宏昭

多忙の秋
秋は、運動会や文化祭など学校、町内行事が盛り沢山！
ゆっくりできる冬が待ち遠しい。

～健康の秋～
また、木場潟でウォーキング始めようかな♪
中野宏昭

工事部
小山南海子

クリエイション江口
池田理恵

現場の秋

さわやかな秋風が吹くと作業が順調に進みます。特に梯川にいると風や気候の変化が楽しいです。

小山

大掃除の秋

嫁に出て15年目の秋。ようやく…実家の自分の部屋の片付けを決意。やり出すと…あーんなものや こんなもの懐かしいものいっぱいで、なかなか進みません…年内には終える様頑張ります！

スポーツの秋
だんだんと涼しくなるので体を動かして、気持ちのいい汗がかけます。

工事部
池田　雅弘

お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、ご意見・ご感想などがございましたらご連絡下さい！

発行元
EGUCHI
江口グループ
株式会社 江口組
小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)